

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年				
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日	1月 ~10日	1月 ~17日	1月 ~24日	1月 ~31日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10	27	31	21	25
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2	13	7	8 (11)	4
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0	0	0	0	1
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0	1	2	2	1
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2	1	5	1 (2)	4
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0	4	4	2	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	1	0

* ()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和3年第4週(1月25日~1月31日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	5	結核	5			2		2	1	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1		
四類	0	発生なし	0							
五類	2	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	1	1						
		梅毒	1						1	
指定	180	新型コロナウイルス感染症	180	18	24	7	0	89	10	32

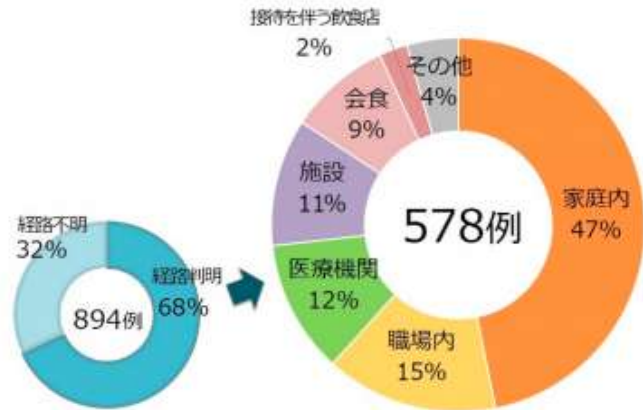
注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中市, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市 西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町 北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

新型コロナウイルス感染症

第4週に合計89件の報告がありました。
 感染者数は減少傾向が続き、感染状況の指標となる感染経路不明割合も12月の40%から32%と減少していますが、クラスターが散発的に発生しており、引き続き注意が必要です。
 家庭内感染は家族みんなの注意が必要です。特に、ご家族が基礎疾患をお持ちの場合は、みんなで感染対策を徹底しましょう。また、基礎疾患のある方は、いつもと違うと感じたら、すぐに受診しましょう。

広島市 新型コロナウイルス感染症の推定感染経路(1月)



【広島市】「新型コロナウイルス感染症に関する情報」2月2日 記者発表資料より
<https://www.city.hiroshima.lg.jp/uploaded/attachment/135101.pdf>

第2次 新型コロナ感染拡大防止集中対策実施中！！

詳細については、広島県ホームページ「第2次 新型コロナ感染拡大防止集中対策【令和3年1月18日～2月7日】」
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-hiroshima-2.html> からご確認ください。

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間(注)	発生記号
フィン	インフルエンザ	2	0.05	36.72		小児科	流行性耳下腺炎	2	0.08	0.23	
	咽頭結膜熱	-	-	0.33		眼科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.34	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9	0.38	2.56		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	74	3.08	6.97	→	眼科	流行性角結膜炎	3	0.38	0.45	
小児科	水痘	4	0.17	0.52		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	2	0.08	0.12		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	-	
	伝染性紅斑	1	0.04	0.50		基幹	マイコプラズマ肺炎	-	-	0.26	
	突発性発しん	7	0.29	0.31		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	8	0.33	0.06		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.43	

急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↘	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	7	50歳代、70歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	1	10歳未満・O103